

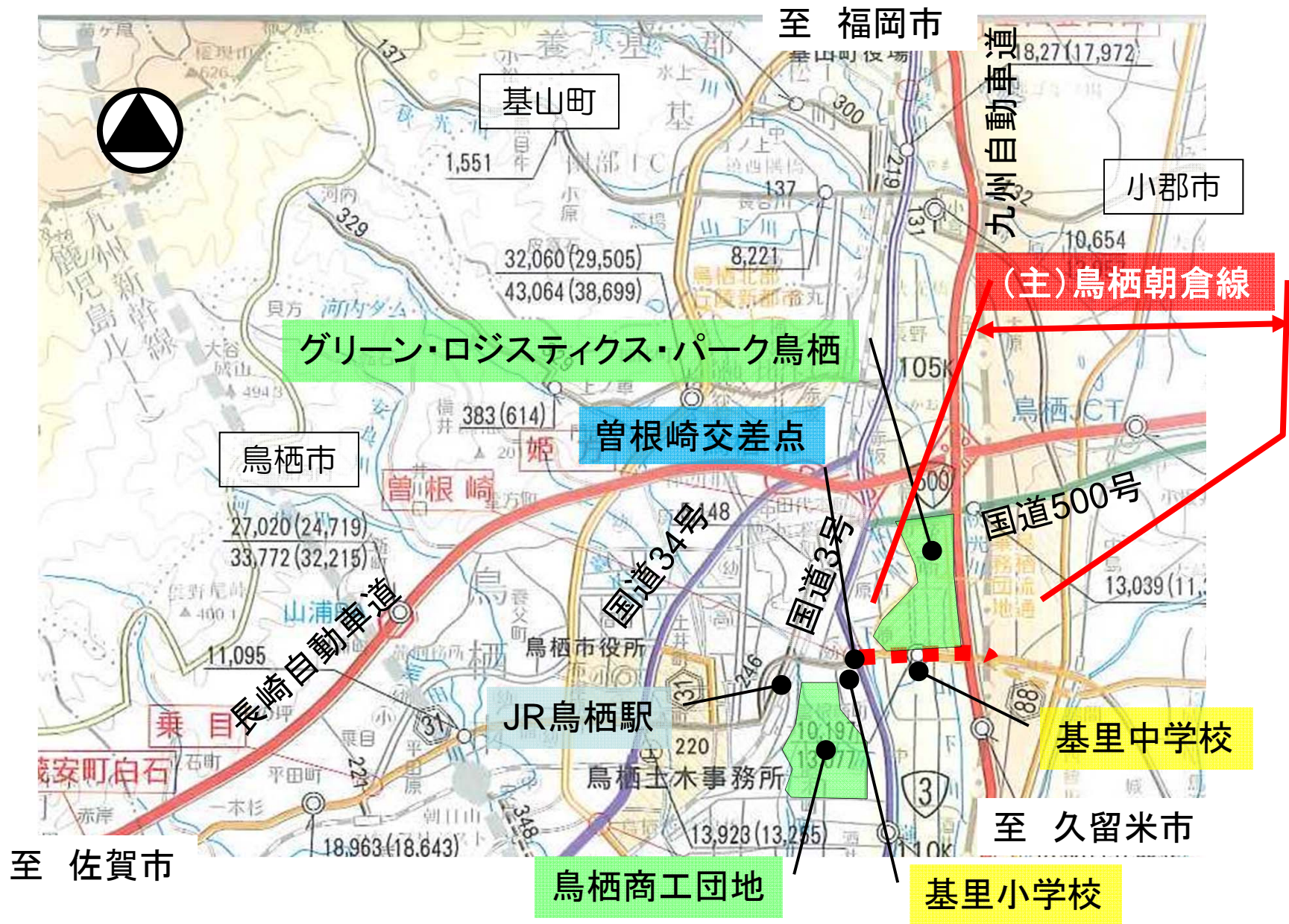
平成22年度 再評価委員会

路線名：主要地方道 鳥栖朝倉線
（飯田町工区）

事業名：道路整備交付金事業

（着手より10年経過のため再評価）

主要地方道 鳥栖朝倉線 位置図



事業目的



現道拡幅及び交差点改良により

交通の円滑化、通学者等の安全性確保

事業概要

- 全体事業費：23.2億円
- 工期：平成13年度～平成23年度（予定）
- 全体延長：L=1,310m
- 事業内容：改良工 L=1,310m
用地買収 7,747m²
家屋補償 11戸

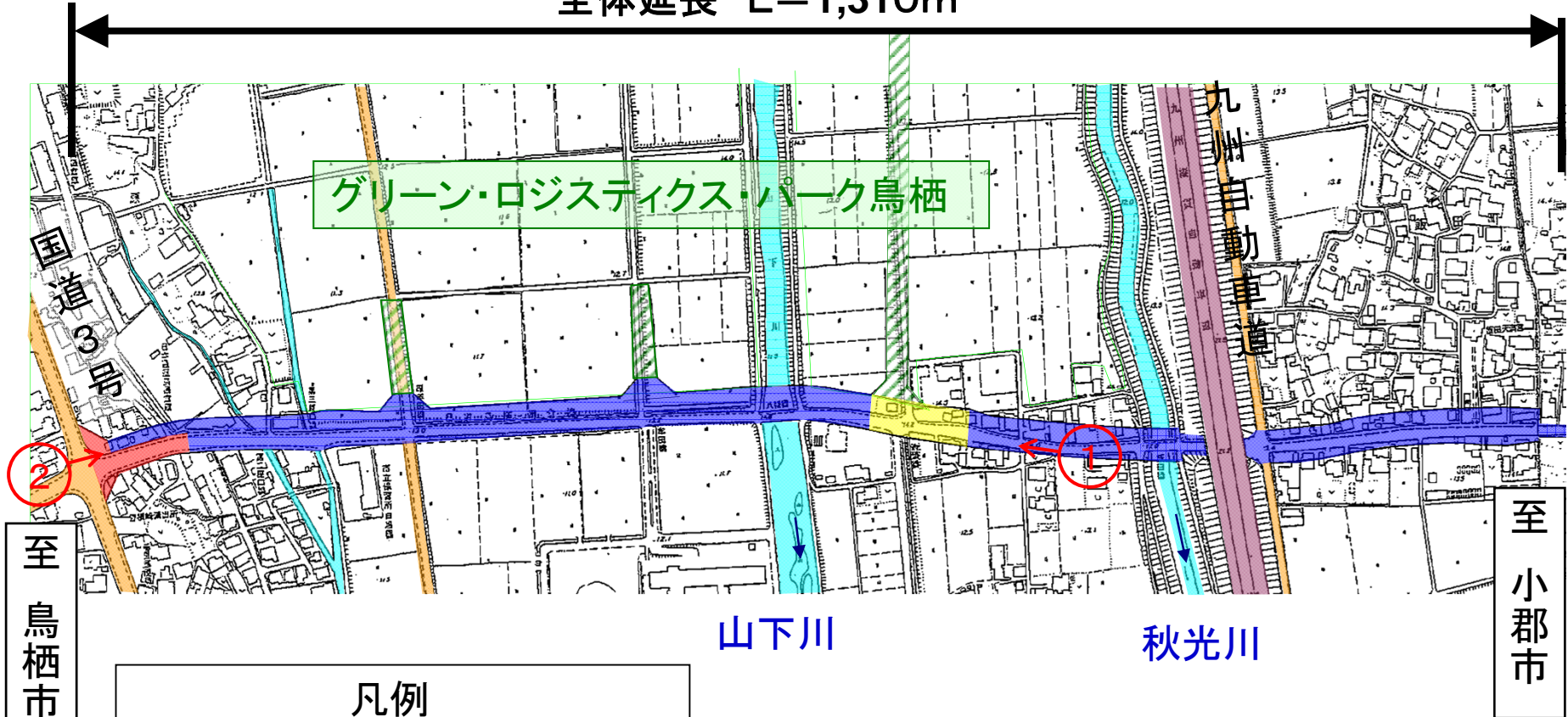
事業の進捗状況

	平成21年度まで	平成22年度	平成23年度以降
事業費(億円)	22.5	0.2	0.5
進捗率(%)	97.0	97.8	100.0
用地進捗率(%)	94.0	100.0	100.0

主要地方道 鳥栖朝倉線 平面図



全体延長 L=1,310m

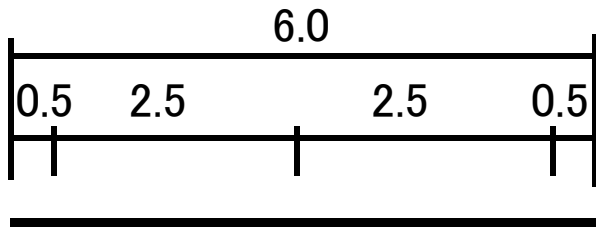


凡例

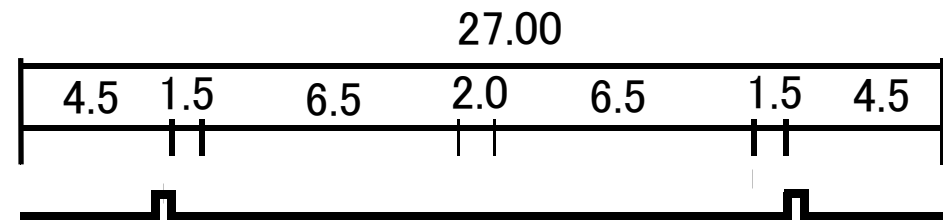
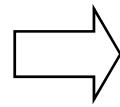
青	平成21年度まで
赤	平成22年度施工箇所
黄	次年度施工箇所

主要地方道 鳥栖朝倉線 横断図

現況



計画



事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の増加

H9 13,264台／日（基準）

H11 12,175台／日（0.92）

H17 13,077台／日（0.99）

- 沿線の工業団地「グリーン・ロジスティクス・パーク鳥栖」の分譲がほぼ終わりに近づくなか、進出企業の操業も始まり、今後、交通量の増加が予想される。

費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比(B/C)} = 45.0 / 26.0 = 1.7$$

- 【便益】

走行時間短縮便益	=	43.5億円
走行経費縮小便益	=	-0.6億円
交通事故減少便益	=	2.1億円
合計		45.0億円

- 【費用】

事業費	=	25.3億円
維持管理費	=	0.7億円
合計		26.0億円

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。